

平成 16 年 9 月 30 日

各 位

会 社 名 ケネディ・ウィルソン・ジャパン株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 本間 良輔
(コード番号: 4321 東証2部・大証ヘラクレス)
問い合わせ先 取締役兼執行役員 CFO 吉川 泰司
電 話 番 号 (03) 3519-2530

コミットメントラインの設定について

当社は、平成 16 年 9 月 30 日付で三井住友銀行をアレンジャーとするシンジケーションにより、200 億円のコミットメントラインを設定いたしましたのでお知らせします。

記

1. コミット金額 20,000,000,000 円
2. コミット期間 平成 16 年 9 月 30 日～平成 18 年 9 月 30 日
3. 資 金 使 途 不動産取得資金
年金向け不動産ファンド等顧客投資家に提供する物件の、自己勘定による先行取得資金に充当します。
4. アレンジャー 三井住友銀行
5. エージェント 三井住友銀行
6. 参 加 行 計 15 行
三井住友銀行、中央三井信託銀行、農林中央金庫、りそな銀行、あおぞら銀行、関西アーバン銀行、商工組合中央金庫、信金中央金庫、東京スター銀行、東京三菱銀行、十六銀行、みなと銀行、UFJ 銀行、香川銀行、北陸銀行
7. 特 徴 組成が困難とされる取得物件を特定しないコミットメントラインであり、機動的な物件取得に寄与します。
我が国ではあまり例のない 2 年間の中長期のコミット期間を設定しました。当該期間は投資物件の増加と同時に取得競争の激化も予想され、そうした中で安定的な資金を確保し当社の案件組成能力を一層強化することが狙いです。

当社グループは、アセットマネジメント事業の拡大による安定的な事業基盤の確保を経営目標としており、9月には通算4件目となる年金向け不動産ファンド（投資完了時の資産規模300億円）を組成する等、順調に同事業を拡大しています。すでに当期の新規受託は約900億円にのぼっており、9月末の受託残高は1,950億円程度となる見込みです。

今般のシンジケーションは、100億円を目標として組成を開始しましたが、最終的には200億円の大型の資金調達となりました。参加金融機関からは、当社のこうした実績に対する高い評価と、今後の市場拡大を踏まえた将来性に対する期待をいただいたものと受け止めています。

コミットメントラインの設定により、大規模案件に関してもこれまで以上の取組が可能となる等、事業の拡大に一段とはずみがつくことが予想されます。先般実施した公募増資による自己資本の充実とあわせ、当社のさらなる発展につなげていく所存であります。

以 上